

山根の新たな軌跡描く

久慈市山根町の山村文化継承に取り組む山根六郷研究会(桑畑博会長、会員10人)は、山根六郷自然・文化景観等調査報告書「源流まるごと昔郷山根風土記」の追補版を発行した。2001年の改訂版発

久慈・六郷 研究会

行から16年余の活動の軌跡を追加。昨年8月の台風10号豪雨で被災した集落の写真を収めるなど内容を充実させた。昔ながらの山村文化が息づく山根を改めて見詰め直し、未来への道筋を探る一助とする。

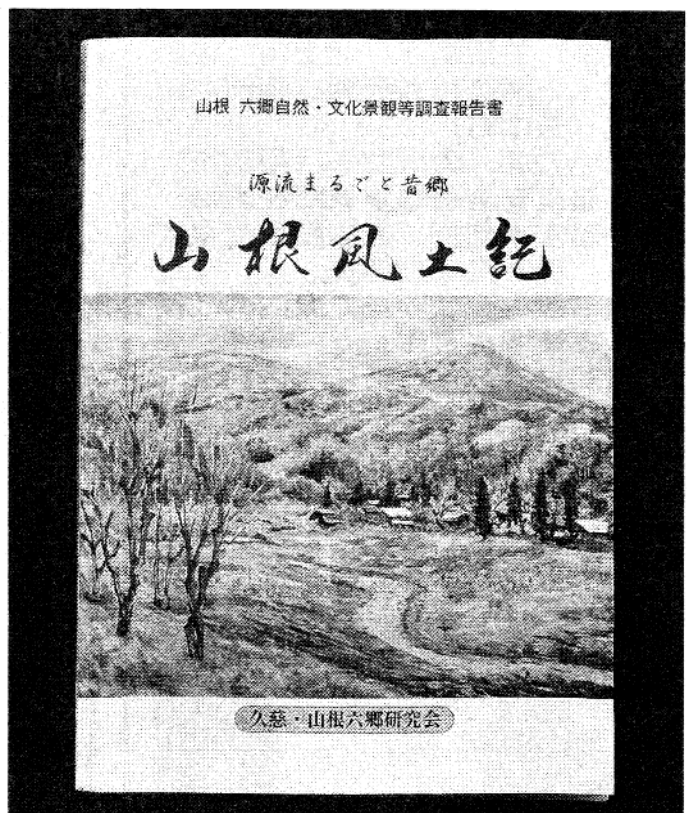
風土記の追補版発行

A4判の279ページで、市の地域コミュニティ振興事業費補助金を活用して350部作製。改訂版から約20ページ増やしカラー面も充実させた。山根地区区長会、市山根支所の協力を得て、同町の全152戸や公共施設などに届けた。

追加したのは豪雨被害を受けた水辺の景観、寸断された道路や橋などの記録写真。水車の復元15周年を記念した02年のフォーラム、千本に達したサクラの植樹活動など。

同研究会は1983年発足。山根風土記は同研究会や地元住民、学識経験者ら

台風10号の被害も収録



昨年の台風10号豪雨被害の記録写真などを盛り込んだ山根風土記の追補版

で調査編集委員会を組織しとしながら、未来へ進むた94年に初版を発行。過疎化が進む中、歴史や風土、暮らし、文化などを記録し、追補版は3500円(税

地域活性化の「心おこし」に役立つ」との思いが詰まっている。研究会ホームページ (http://www2.dango.ne.jp/yamane6) から入手

桑畑会長(71)は「家に1冊置いてもらい、素晴らしい山根を振り返る資料